

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2019. 3. 21 NO. 246

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



区議会第1回定例会 予算特別委員会

学校芝生管理報告書偽造事件を追及

6年間署名捺印を偽造 驚くべき真相が明らかに

日本共産党杉並区議団は、3月13日の予算特別委員会で、学校芝生の維持管理（北2ブロック）を受託してきた事業者が、毎月区に提出しなければならぬ報告書を、長期にわたって偽造してきた問題を質しました。

報告書偽造は140回 偽造された副校長は9人

不正を行っていたのは、荻窪小学校など3校の芝生維持管理業務の契約事業者・箱根造園株式会社ですが、実際の業務は、日本体育施設株式会社東京支店が下請で行っていました。

契約では、副校長の署名と捺印をもらった報告書を毎月区に提出することになっていますが、事業者は、1回目にももらった署名、捺印のカラーコピーを無断で繰り返し貼り付けて提出。不正行為は、2013年から4校で行われ、偽造回数はいくつもありました。

刑法に抵触の可能性も

党区議団は、こうした行為は、明らかに刑法159条の有印私書偽造に抵触する可能性があるのではないかと追及。しかし、区は、警察が「財

産にかかわる文書でない」と判断したという理由で違法性を否定しました。

刑法159条
・・・偽造した他人の印章若しくは署名を使用して権利、義務若しくは事実証明に関する文書若しくは図画を偽造した者は、3カ月以上5年以下の服役に処する

不正をしながら契約続行 区の判断は重大問題

契約では「不正行為」があつた場合、契約を解除できることになっていますが、区は2か月の指名停止にただで契約を継続。停止期間についても、区の要綱では最大5か月、標準でも3か月

なのに、区は過去3年の履行成績が良好だという理由で、2か月にしたと答弁しました。

党区議団は「過去6年間も悪質な不正を行いながら、事業者を擁護し、不正行為を不問にするかのような区の判断は重大問題」と批判しました。



表1. 学校教育施設芝生維持管理業務委託 入札結果

年度	種別	種別	種別	種別	種別
2016	芝生	Y社	S社	T社	箱根造園
2017	芝生	Y社	S社	T社	箱根造園
2018	芝生	Y社	S社	T社	箱根造園
2019	芝生	Y社	S社	T社	箱根造園
2020	芝生	Y社	S社	T社	箱根造園
2021	芝生	Y社	S社	T社	箱根造園

追及する金子けんたろう議員

1位落札は毎年同じ企業 不自然な入札の実態を質す

表 1. 学校教育施設 芝生維持管理支援委託 入札結果

入札年度	契約ブロック				
	南1	南2	南3	北1	北2
2018	O社	Y社	S社	T社	箱根植木
2017	O社	Y社	S社	T社	箱根植木
2016	O社	Y社	S社	T社	箱根植木
2015	O社	Y社	S社	T社	箱根植木
2014	O社	T社	Y社	T社	箱根植木
2013	O社	Y社	S社	T社	箱根植木

表 2. 公園等 樹林管理委託 入札結果

入札年度	契約ブロック							
	南1	南2	南3	南4	南5	北1	北2	北3
2018	T B社	J社	Y社	O社	F社	T社	H社	U社
2017	T B社	J社	Y社	O社	F社	T社	H社	U社
2016	T B社	J社	Y社	O社	F社	T社	H社	U社
2015	T B社	J社	Y社	O社	F社	T社	H社	U社
2014	T B社	J社	Y社	O社	F社	U社	H社	U社

不正事件の調査を通じて、学校芝生管理の不自然な入札の実態も浮き彫りになりました。

**ブロックごとに同じ大手が毎年1位
「回数均一」「規則性」は通報対象**

学校芝生管理事業の入札は、区内の学校を5ブロックに分けて行いますが、6年連続で同じ大手造園業者が1位を取り続けるという異常な実態が明らかになりました。(表1)

区は「不自然ではない」と言い張りましたが、党区議団は、公園樹木管理の入札も、4年連続でブロックごとに同じ業者が1位を取り続けていることも明らかにしました。(表2)

「不自然でない」と言い続ける区に対し「公正取引委員会が示した手引書では『回数均一』『規則性』がある落札は、公取委への通報の対象とされており、意見を聞くよう要求している。通報すべきではないか」と迫りましたが、区はそれも拒否するという異常な態度に終始しました。

党区議団が提案した給食費負担軽減条例 自、公、立民、いのち平和などが否決

国の食育基本法では、学校給食を教育の一環と位置付けており、憲法26条で義務教育の無償化が定められていることから、小中学校の給食費は無償であるべきです。

しかし、学校給食費は、杉並区の場合、小学低学年は年額約5万5千円以上、中学生では約7万2千円と高額です。日本共産党杉並区議団は、学校給食費完全無償化を目指し、その第一歩として、今定例会に、保護者に年額1万1千円の補助を行う『給食費負担軽減条例』を条例提案しました。必要な予算は約2億5千万円、区の財政力があればすぐに実現できます。

文教委員会の審議では「時期尚早」「単なるばらまきの感も否めない」などの理由で、自民・公明・立憲民主、いのち平和などが反対し否決。本会議の採決で賛成したのは共産党と松尾議員(杉並)のみでした。反対した政党の殆どは、一昨年の都議選挙では給食費無償化を公約にあげていました。



医師で、党東京都副委員長の谷川智行さんも挨拶に駆けつけました。

16日「くすやま美紀と語るつどい」が開かれ、47名が参加しました。私から国保や高齢者施策、児童館問題で論戦した様子を報告。介護現場で働くケアマネジャーや商店経営の方々から、介護や商売の実態が語られ「くらしを守るためにも、くすやま区議をなんとしても6期目も区議会に送ろう」と決意を固めました。党区議団事務局員として働いている吉田信夫さんからも区議団の奮闘ぶりが報告されました。